

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 3月 1日

保護者等数 34名 回収数 22名 65%

事業所名:リハビリ発達支援ルーム UTキッズ大和高田

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	一人一人の活動スペースを確保し安心して療育に取り組めるように努めています。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	行き帰りの負担がある スペースは十分に確保されていますが、鉄棒等の道具が充実していればもっと良いと思います。 →スペース上鉄棒等の設置は困難な為、療育の中に鉄棒等に必要な動きが習得できるよう支援を行なっています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	職員の配置については基準に基づいて療育を行っています。個別療育の中でさまざまな職種のスタッフが在籍していますので、担当制ではなく専門性を活かし情報共有しながら療育を行っています。	はい 23人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人	よく対応していただけている いつもこちらの質問に対して専門的にアドバイスいただいております。 →引き続き専門性を高めていけるように、職員間で共有して療育を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関フロアは車いすで利用可能なトイレがあります。(車いす用・一般用設備・手すり有) 施設内バリアフリーになっています。	はい 18人	どちらとも いえない 5人	いいえ 1人	特に困っている点等はありません。
	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	聞き取りシートを利用し困っている事、成長したところ等記入していただいています。また、曖昧な箇所は深く掘り下げて聞き取りを行い計画書の作成を行なっています。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	その都度、ご相談にのっていただき支援計画に反映されていると思います。 →今後も事業所内相談や療育終了後の振り返りで更に相談しやすい雰囲気作りに努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	5 活動プログラムiiが固定化しないよう工夫されているか	療育の指導員は担当制ではなく様々な職種で支援を行い活動が固定化しないよう努めています。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	活動内容が口頭でのフィードバックのみなので詳細が分からない為、たまには活動の様子を見たいなと思っています。 見学ができないのでよくわかりません。できたら月に1度でも見学可能にしてもらえたらもっと様子がわかりやすいと思います。 →コロナ禍で現在は見学が難しくなっていますが、落ちついた際には、再開していけるように検討しています。今後も療育内容を検討しながら固定化しないよう職員間で話し合いを行っていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在交流会の機会は設けていません。	はい 5人	どちらとも いえない 10人	いいえ 9人	保育に通園していますが、事業所としては上記のような機会は無いのではと思います。 →現在、コロナ禍で交流会の機会は設けていませんが、今後検討していきます。
適切な支援の提供	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	変更等があった際には、その都度説明させて頂いています。支援内容についても見直しの時期に計画書を含め説明させていただいています。	はい 24人	どちらとも いえない 0人	いいえ 0人	契約前にご説明がありました。 →何かご不明な点がありましたらいつでもご相談下さい。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	療育終了後の振り返り時に、本児の強み弱み等、また発達状況や課題についての説明を行い共通理解ができるように努めています。	はい 21人	どちらとも いえない 3人	いいえ 0人	こちらからの働きかけでその都度、情報共有しています。 →今後も職員間の連携を強め、子どもたちや保護者の方のニーズを十分把握し、充実した療育内容となるように努めています。
	9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅で行える工夫などをお伝えできるように努めています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明等	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	保護者の方から相談があった際は、事業所内相談の利用を提案し面談や助言を行っています。	はい 19人	どちらとも いえない 5人	いいえ 0人	特に感じ無いが、こちらも何を聞いていいのかわからない。また子供2人を通わせているので、ドタバタでアドバイスをもらう機会がない。 こちらからの要請があれば面談対応していただいております。 →どのような悩みでも相談しやすいようお知らせを貼り出します。
	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	コロナ禍の中で、イベント等の開催ができませんでしたが、集団療育(親子の日)の際に保護者の方(少人数)で共同作業や畑作業を通して交流できる機会を設けています。	はい 5人	どちらとも いえない 16人	いいえ 3人	参加していないので回答できません。 父母の会や保護者会の有無が分かりません。 保護者会は参加したことはありません →コロナ禍で実施が難しい状況です。終息後、開催できるように企画を検討していきます。
	12 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応しています。	はい 18人	どちらとも いえない 6人	いいえ 0人	苦情があったか知らないで何とも言えない 契約前にご説明がありました。 →迅速かつ適切に対応できるように努めていきます。
	13 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	絵カード、ジェスチャー、白板等を使ってわかりやすく情報伝達を行っています。	はい 20人	どちらとも いえない 3人	いいえ 1人	待合室での伝達ですので同時間の子どもや保護者が同席している場合があり、内容によっては場所を変えたい時もある。 折り返し連絡しますと言われたまま連絡がないことがあった。 →内容等に注意を払い、プライバシー保護に努めていきます。また、職員間での伝達方法の見直しを行い、ミスがないよう努めていきます。
	14 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページについては定期的にUTキッズ全体で情報を更新しながら発信させていただいています。	はい 15人	どちらとも いえない 8人	いいえ 1人	イベント開催は口頭で告知いただきました。 →今後も事業所内の行事については、直接ご説明できるように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	15 個人情報に十分注意しているか	保護者の方に個人情報同意書、撮影同意書の承諾を得ています。また、個人情報ファイルは鍵付きの棚に保管しています。	はい 20人	どちらとも いえない 4人	いいえ 0人	Q12の意見の通り。 →内容等に注意を払い、プライバシー保護に努めていきます。
非常時等の対応	16 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	保護者室の棚にマニュアルを作成し、いつでも閲覧できるに備えています。	はい 15人	どちらとも いえない 9人	いいえ 0人	感染症対応は知っているが他はよく知らない 契約前にご説明がありました。 →保護者室棚に全てのマニュアル等のファイルがありますのでご覧ください。何かご不明な点がありましたらいつでもお声掛けください。
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	火災・地震・不審者訓練を実施した際には、掲示板にてお知らせさせていただいています。また、療育時に子どもたち一緒に避難訓練を行っています。	はい 9人	どちらとも いえない 14人	いいえ 1人	通所している時に訓練があった事はありません。 →定期的に避難訓練を実施しています。結果・報告については、貼り出しをしています。
	18 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。	/			
	19 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明していません。現在は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設けており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発生した場合には計画への反映と十分な説明を行っていきます。	/			
	20 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲食が発生する場合は保護者にアレルギーの確認を行った上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただいています。	/			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	個々の発達段階にあわせた課題を、感覚統合理論を基礎にした運動あそびに落とし込んで提供しています。お子さんが楽しく通えるように日々進化させていきます。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	すぐに飽きてしまう。違う事をしている。通所により自信が持てたように思います。とてもたのしそうです。 →今後も遊びのバリエーションを職員同士で話あい向上できるように努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	子どもたちや保護者の方に満足して頂けるように知識や技術の向上に努めていきます。	はい 22人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	うちの子供に向いているとは思わない。別の角度からの訓練の方が良いように思う。 主に子どもの心配事、困り事に対して都度、助言いただける事に対して有難く思っています。 →しっかりと子どもたちの様子を捉えながら、提供方法・関わり方の工夫などを行い支援ができるように努めていきます。

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 3月 1日

保護者等数 54名 回収数 33名 61%

事業所名:リハビリ発達支援ルーム UTキッズ大和高田

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	一人一人の活動スペースを確保し安心して療育に取り組めるように努めています。	はい 32人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人	身体を動かすには、少し狭いと感じます。 →3人利用の時などは特に、療育前にスタッフ同士で話し合いを行い、スペースの配分を行い、安全に活動ができるように努めています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	職員の配置については基準に基づいて療育を行っています。個別療育の中でさまざまな職種のスタッフが在籍していますので、担当制ではなく専門性を活かし情報共有しながら療育を行っています。	はい 32人	どちらとも いえない 0人	いいえ 1人	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関フロアは車いすで利用可能なトイレがあります。(車いす用・一般用設備・手すり有) 施設内バリアフリーになっています。	はい 27人	どちらとも いえない 6人	いいえ 0人	
適切な支援	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	聞き取りシートを利用し困っている事、成長したところ等記入していただいています。また、曖昧な箇所は深く掘り下げて聞き取りを行い計画書の作成を行なっています。	はい 31人	どちらとも いえない 2人	いいえ 0人	
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	療育の指導員は担当制ではなく様々な職種で支援を行い活動が固定化しないよう努めています。	はい 30人	どちらとも いえない 3人	いいえ 0人	その日の本人の状況に合わせて色々なことを体験させて いただいております →今後も療育内容を検討しながら固定化しないよう職員間で話し合いを行ってまいります。

の提供	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在交流会の機会は設けていません。	はい 5人	どちらとも いえない 13人	いいえ 15人	こちらが存じ上げていないだけで、ある子はあるのかもしれませんが。 利用したことがないのでわからない →現在、コロナ禍で交流会の機会は設けていませんが、今後検討していきます。	
保護者への説明	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	変更等があった際には、その都度説明させて頂いています。支援内容についても見直しの時期に計画書を含め説明させていただいています。	はい 32人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	療育終了後の振り返り時に、本児の強み弱み等、また発達状況や課題についての説明を行い共通理解ができるように努めています。	はい 33人	どちらとも いえない 0人	いいえ 0人	家庭でのことなども相談でき、アドバイスも頂いてます →今後も職員間の連携を強め、子どもたちや保護者の方のニーズを十分把握し、充実した療育内容となるように努めています。	
	9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅で行える工夫などをお伝えできるように努めています。	/				
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	保護者の方から相談があった際は、事業所内相談の利用を提案し面談や助言を行っています。	はい 27人	どちらとも いえない 6人	いいえ 0人	終了後に話す時間はありますが、面談として話したことはありません。 親身に聞いていただいている →どのような悩みでも相談しやすいようお知らせを貼り出します。	
	11 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	コロナ禍の中で、イベント等の開催ができませんでしたが、集団療育(親子の日)の際に保護者の方(少人数)で共同作業や畑作業を通して交流できる機会を設けています。	はい 5人	どちらとも いえない 19人	いいえ 9人	コロナで開催等できないのではないかと思います。 コロナ禍で難しいと思います。以前はお知らせとかよく見ましたので。はやく交流や会の参加等できればいいなと思います。 →コロナ禍で実施が難しい状況です。終息後、開催できるように企画を検討していきます。	

等	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応しています。	はい 23人	どちらとも いえない 10人	いいえ 0人	
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	絵カード、ジェスチャー、白板等を使ってわかりやすく情報伝達を行っています。	はい 33人	どちらとも いえない 0人	いいえ 0人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページについては定期的にUTキッズ全体で情報を更新しながら発信させていただいています。	はい 16人	どちらとも いえない 15人	いいえ 2人	
	15	個人情報に十分注意しているか	保護者の方に個人情報同意書、撮影同意書の承諾を得ています。また、個人情報ファイルは鍵付きの棚に保管しています。	はい 28人	どちらとも いえない 5人	いいえ 0人	
非常時等の対応	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	保護者室の棚にマニュアルを作成し、いつでも閲覧できるように備えています。	はい 27人	どちらとも いえない 4人	いいえ 2人	
	17	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	火災・地震・不審者訓練を実施した際には、掲示板にてお知らせさせていただいています。また、療育時に子どもたち一緒に避難訓練を行っています。	はい 19人	どちらとも いえない 11人	いいえ 3人	わからない →定期的に避難訓練を実施しています。結果・報告については、貼り出しをしています。
	18	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。	/			

	19	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明していません。現在は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設けており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発生した場合には計画への反映と十分な説明を行っていきます。	/		
	20	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲食が発生する場合は保護者にアレルギーの確認を行った上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただいています。	/		
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	個々の発達段階にあわせた課題を、感覚統合理論を基礎にした運動あそびに落とし込んで提供しています。お子さんが楽しく通えるように日々進化させていきます。	はい 33人	どちらとも いえない 0人	いいえ 0人
	23	事業所の支援に満足しているか	子どもたちや保護者の方に満足して頂けるように知識や技術の向上に努めていきます。	はい 32人	どちらとも いえない 1人	いいえ 0人